

# 北海道新幹線で行く

**受付開始!**

# 福島県会津若松市の旅

町ではこの度、町民親善交流事業として、福島県会津若松市（親善交流都市）への町民参加型ツアーを企画しました。ご夫婦やお友達同士で、歴史溢れる会津若松市を訪ね、本町のルーツを辿る旅へ・・・。

皆さまのお申込みをお待ちしています。

※本事業は旅行業法に基づく登録事業者が旅行企画・実施するツアーです。

**実施日**：平成**29**年**11**月**10**日（金）～**12**日（日）

**主な訪問先**：鶴ヶ城、飯盛山、白井農園（りんご「緋の衣」栽培農園）

**受付開始**：平成**29**年**8**月**1**日（火）午前**9**時～ **申込は先着順**

**詳細は今月の折込チラシで!**

## ～ ゆかりのまちを訪ねて～

### 「青春日和」～賀名生（あのう）分校体験実習の受入～ 奈良県五條市（交流都市）

今年度も、五條市立奈良県立五條高等学校賀名生（あのう）分校の生徒が、7月3日から本町を訪れ、町内の農家で体験実習を行いました。

この体験実習は毎年7月に10日間の日程で行われ、今年は9名の生徒が町内にある6件の農家のお宅にホームステイし、サクランボの収穫やブドウの整枝などの実習に取り組みました。

1966（昭和41）年、賀名生分校の父とも称される御勢（ごせ）久右衛門氏は、研究のため北海道を訪れた際、その広大な大地と豊かな自然を見て、「生徒たちに修学旅行でこの風景を見せてやりたい。この地で実習をさせたい。」という強い思いを抱き、その候補として道内随一の果樹生産地である本町を選びました。

町ではこうした実習の受入は初めてでしたが、農家の皆さんを始め関係者が趣旨に賛同し、ここに“実習兼修学旅行”という新たな試みの実現します。それ以来、賀名生分校の生徒たちが農家の方の深い愛情と理解に触れながら、農作業の手順や農業経営のノウハウを肌で感じ、学ぶという交流が、今日まで半世紀以上も続いています。

賀名生分校のブログ「青春日和」には、生徒たちの本町での体験実習の様子が掲載されており、はじめは緊張していた生徒たちが受入農家の方とも打ちとけ、一生懸命に実習に取り組む様子を見ることができます。是非一度ご覧ください。

**問合せ 企画政策課 ☎ 21-2117**



▲ 体験実習のようす

### 「児童手当の現況届」忘れていませんか？

「児童手当の現況届」は、年に1回、児童手当を受給しているすべての方に提出していただく必要のある届けです。受給者の方には、必要な書類を6月初旬に発送し6月30日までに提出いただくようご案内しておりますが、まだ提出されていない方は、至急提出をお願いします。

現況届の提出がない場合は、6月以降の児童手当が支給できないことがありますので、忘れずに提出してください。

### 「児童扶養手当の現況届」の提出について

「児童扶養手当の現況届」は、年に1回、児童扶養手当を受給しているすべての方に提出していただき、受給資格を再審査するための届けです。

受給者の方には、必要な書類を8月初旬に送付しますので、期限までに提出してください。

現況届の提出がない場合は、8月以降の児童扶養手当が支給できないことがありますので、忘れずに提出してください。

**提出期限：8月31日（木）**

**問合せ 町民福祉課 児童福祉グループ ☎ 21-2120**

